



UNEQUAL BURDEN OF SACRIFICE

経済・精神・仕事面で多大な負担
「親の介護は娘の役目」という呪縛と
長寿化に追いつかない米国の社会保障制度

高齢化が急速に進むアメリカで今、老齡の親の介護負担を巡って深刻なジェンダー格差が浮き彫りになっている。ジャーナリストのケリー・マリア・コルダッキ氏によれば、親の介護をするためにキャリアや時間を犠牲にした女性たちは、生涯で平均30万ドル（約4800万円）もの経済的損失を被っているという。なぜ、これほどまでに女性に負担が偏っているのか。人々の長寿化に追いついていない社会保障制度と「介護は女性の仕事」という根強いジェンダー規範が絡み合う、アメリカの介護問題の実態に迫る。



インタビュー

ミシェル・マーティン

米ニューヨーク州ブルックリン出身のジャーナリスト。1992年にABCに入局し、テレビ報道の経験を積む。2007年からNPR（米国公共ラジオ放送）で自身のニュース番組「Tell Me More」のホストを務めた。2018年から、クリスティアン・アマンプール主宰の番組「Amanpour & Company」に加わっている。

ゲスト

ケリー・マリア・コルダッキ

ニューヨーク市を拠点に活動するフリーのジャーナリスト、作家、編集者。主にビジネス、社会、労働などの領域に焦点を当てた取材や執筆を行っている。「ニューヨーク・タイムズ」「ガーディアン」「アトランティック」など、多数の雑誌、新聞、デジタルメディアに記事を寄稿。執筆活動にとどまらず、「ガーディアン」および「アトランティック」では編集主任を務めた。



Listening Quiz

62 「娘である」だけで30万ドルを失っている？

Next, the “daughterhood penalty,” a growing social issue that’s too often overlooked. Journalist and author Kelli María Korducki explores the disproportionate financial, emotional, and professional burden that’s falling on women who are caring for their aging parents. And she joins Michel Martin to discuss the failures of America’s care system amid a rapidly aging society.

* * *



Michel Martin You’ve been writing about something called the “daughterhood penalty.” What is the daughterhood penalty?



Kelli María Korducki The daughter[hood] penalty is the, kind of, unspoken tax that often falls onto adult daughters of aging parents, who make sacrifices—career sacrifices, time sacrifices—to care for their parents, to provide unpaid care, and [that] adds up to lost earning opportunities.



Martin You actually give a number: you say that on average, women are losing out in \$300,000 of savings over their lifetimes because of this daughterhood penalty. That’s crazy. Why is that?



Korducki It’s pretty simple. The amount of time that it takes to attend to a progressively declining elderly person—it ends up eating into other responsibilities. There’s only so much time in which to attend to various responsibilities in one’s

daughterhood:

娘であること

penalty:

罰、不利益、ペナルティー

overlook:

～を見落とす、見過ごす

disproportionate:

割合が偏った、均衡を欠いた

professional:

仕事上の、職業上の

burden:

重荷、負担

fall on/onto:

〈責任などが〉～に降りかかる

unspoken:

暗黙の、言葉にされない

unpaid:

無給の、タダ働きの

add up to:

結局～になる

lose out in:

▶正しくはlose out on. 「〈得られるはずの金銭・機会など〉を獲得し損なう、得られず損をする」の意。

savings:

預貯金、蓄え

crazy:

《話》とんでもない、めちゃくちゃな

attend to:

①～を世話する、介護する

②（仕事など）を処理する

progressively:

徐々に、進行的に

decline:

（健康などが）衰える

end up doing:

結局～することになる

eat into:

～に食い込む、〈被害などが〉

～の領域にまで及ぶ

only so much:

ごく限られた



※お聞き苦しい箇所がありますが、放送時のものです。ご了承ください。

ここで、「娘であることのペナルティー」について取り上げます。これは深刻化しているものの、あまりに見過ごされることの多い社会問題です。ジャーナリストで作家のケリー・マリア・コルダッキ氏は、高齢の親の介護をする女性たちに降りかかる（男性たちと比べて）不釣り合いに大きい、経済面、精神面、そして職業面での負担について詳しく調べています。急速に高齢化が進む中、アメリカ社会が抱える介護システムの欠陥についてミシェル・マーティンが話を聞きます。

* * *

ミシェル・マーティン あなたは「娘であることのペナルティー」というものについて書いてこられました。娘であることのペナルティーとは何ですか。

ケリー・マリア・コルダッキ 娘であることのペナルティーとは、高齢の親を持つ大人の娘にしばしば課される暗黙の税のようなものです。彼女たちは犠牲——キャリア面での犠牲や時間的犠牲——を払って、親の介護を担い、つまり無給で介護をし、その結果、収入を得る機会を失っているのです。

マーティン あなたは実際に数字も挙げています。このペナルティーのせいで、女性は平均して、生涯で30万ドルの貯蓄を失っている、と。信じられない額です。なぜそんなことに？

コルダッキ 理由は単純です。衰えていく高齢者の介護に充てる時間——それ（が長い）ゆえに結局、他の責任を果たす時間が削られていくのです。生活の中で、さまざまな責任を果たすために使える時間は限られています。そして、（親の介護のために）犠牲となりがちなのが、キャリア



インタビューの概要を伝えるのは、番組ホストのクリスティアン・アマンブール



インタビュアーはCNNのミシェル・マーティン（左）。「娘であることのペナルティー」について語る米ジャーナリストのコルダッキ氏（右）